

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち
 基本施策 : 04 安心して暮らせる長寿社会の実現

主管課長職・氏名	高齢者支援課長 大槻 智康
関係課長職・氏名	地域包括支援センター所長 森 智美

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

健やかで笑顔にあふれるまちを目指すため、安心して暮らせる長寿社会の実現にむけた取組を推進します。そのためには、介護の必要な状態になった時でも安心して住み慣れた地域で暮らせるための介護保険制度の適正な運営が必要です。また、多くの高齢者が「睦大学」や「老人クラブ」「コミュニティ活動」などに参加することで、生きがいのある日々を過ごし、そして支援が必要な時も互いに支え合いながら適切な支援が受けられ、自分らしい暮らしを続けられることを目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	21	21	21	21	21	21	D
			23.5	29.3	20.4	34.6	34.6	0.0
2	幸福 いざという時に、頼れる相手がいる人の割合 単位 %以上	76.2	76.2	76.2	76.2	76.2	76.2	D
			70.6	67.4	74.8	76.7	76.7	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02040100 支え合い暮らししていくための介護保険制度の運営 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	21	21	21	21	21	21	D
			23.5	29.3	20.4	34.6	34.6	0.0
2	暮らし 02040200 高齢者が元気にいきいきと暮らすための支援 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	67.4	63.5	56.8	56.8	△44.4
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：04 安心して暮らせる長寿社会の実現

主管課長職・氏名	高齢者支援課長 大槻 智康
関係課長職・氏名	地域包括支援センター所長 森 智美

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境の構築に取り組みました。 介護が必要な状態になっても安心して暮らすことができるように介護保険制度の適正な運営に努めました。特に介護保険制度改革に係る適切な対応を実施しました。 セーフティネットである各種高齢者福祉対策や、住み慣れた地域でいきいきと暮らすために高齢者の社会参加等の支援を継続しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の適正な運営 「睦大学」、「老人クラブ」などの生きがいがづくりに結び付く活動の支援 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種法令及び国通知に基づき介護保険制度の適正な運営に努めました。 「睦大学」、「老人クラブ」などの生きがいがづくりに結び付く活動を支援しました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率の上昇 要介護・要支援認定申請件数の増加及び認定者の増加 上昇する高齢化率を見据えた介護保険制度の見直し、また、多様化するニーズに対応できる介護保険制度の運営と高齢者福祉の支援体制の整備が必要となります。 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>3年ごとに見直される「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき介護保険制度の適正な運用に努めること、また、「睦大学」や「老人クラブ」などの住み慣れた地域でいきいきと暮らすために高齢者の社会参加等の支援することは、安心して暮らせる長寿社会の実現に繋がります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>高齢化率の上昇、要介護・要支援認定申請件数の増加及び認定者の増加などの現状を踏まえた「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定し、引き続き介護保険制度の適正な運用に努めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化率の上昇、要介護・支援認定申請件数の増加及び認定者の増加などの現状を踏まえた介護保険制度の運営 介護保険制度に頼らない健康寿命の延伸に繋がる生きがいがづくり、社会参加等の支援継続 	

